

2025年

神戸市中学校給食

3地区

6月給食カレンダー



牛乳は毎回ついています

2月	酸味がさわやかな さくらんぼゼリー	3火	かめばかむほど おいしい親鶏	4水	肉・魚・豆腐のタンパク質が とれる和定食	5木	ワカサギのカルシウムで 骨を丈夫に	6金	パンにぴったり メープルの甘い香り
	 さくらんぼゼリー カリフラワーの カレーマリネ ごはん 鶏肉と コーンの トマト煮		 キャベツの 甘酢あえ ごはん 鉄火煮		 肉豆腐 アジの たつた揚げ ごはん 豚汁		 ツナと 野菜の煮物 ごはん 築前煮		 ほうれん草と コーンの ソテー パン ポークピーンズ メープルジャム
9月	ブロッコリーで ビタミンCを補給	10火	フォーガーは米粉の平めん を使ったベトナム料理	11水	チンゲンサイはカルシウムと 鉄分が豊富な野菜	12木	柔らかくしっとりと 焼き上げた塩こうじ焼き	13金	ズッキーニは 今が旬の夏野菜
	 ブロッコリーの ごま酢あえ ごはん 牛肉のうま煮		 かばちゃの ふくめ煮 ごはん フォーガー		 食べる小魚 がんもどきと ひじきの煮物 ごはん チンゲンサイと コーンのスープ		 キャベツと ツナのソテー ごはん 沢煮椀		 ズッキーニの そぼろ炒め パン ミネストローネ
16月	スパイスで食欲増進 ポークカレー	17火	ハスカップは北海道特産の 甘酸っぱい果実	18水	鉄分豊富なほうれん草で 貧血予防	19木	神戸市長田区が発祥の ばっかけを使った焼きそば	20金	パンによく合う ケチャップソースのハンバーグ
	 いんげんの ごまあえ ごはん ポークカレー		 こんぶ豆 ごはん 鶏肉の しょうが汁		 ほうれん草の おひたし ごはん 鶏肉の うま煮		 きゅうりの ピリ辛炒め ごはん小 ばっかけ 焼きそば		 ボイル ブロッコリー (青じそドレッシング) パン 春雨スープ
23月	豚肉と野菜のうま味たっぷり アイデアメニュー	24火	アカウオは鮮やかな 赤い皮の白身魚	25水	暑い時期にぴったり ひんやりわらびもち	26木	ビビンバは代表的な 韓国料理	27金	ごぼうの食物繊維で 腸内環境を整えよう
	 豚肉と野菜の 旨だれ炒め ごはん みそ汁		 スタミナ炒め ごはん 肉じゃが		 わらびもち きゅうりと 大根のツナあえ ごはん 鶏肉と夏野菜の カレー煮込み		 ビビンバ ごはん 揚げ春巻 わかめ スープ		 ごぼうサラダ (ごまドレッシング) パン 白身魚の フライ パン チキンポトフ
30月	コチジャンの甘辛さが 人気のタッカンジョン				ピックアップ 今月のPICK UPメニュー		6/13金 旬の野菜を使った 『ズッキーニの そぼろ炒め』		6/19木 神戸メニュー 『ばっかけ焼きそば』
	 大根の ナムル ごはん トック				 『親鶏のごまだれ炒め』 <p>「親鶏」は、飼育日数が長いため、身がしまり、歯ごたえがあります。かめばかむほど、うま味を感じることができるのが特徴です。</p>		 夏野菜のズッキーニはきゅうりに似ていますが、かぼちゃの仲間です。油で炒めると、豊富なβ-カロテンの吸収率がよくなり、体の免疫力を強化します。		 「ばっかけ」は、牛スジ肉を甘辛く煮込んだ神戸市長田区発祥の料理です。かたい牛スジ肉は長時間煮込むことでやわらかくなり、食べやすくなります。

豚肉と野菜の旨だれ炒め

中学校給食
アイデアメニュー

2024年度

入賞

第3弾

オイスター味の旨味で野菜をおいしく食べることができます。

材料 (4人分)



豚肉スライス(もも)…	240g
キャベツ…	200g
にんじん…	80g
たまねぎ…	80g
料理酒…	小さじ2
ごま油…	小さじ2

A	濃口醤油	大さじ1
	砂糖	小さじ2
	オイスター	大さじ1/2 ソース

作り方

- 豚肉は食べやすい大きさに切る。
- キャベツは約3センチ×5センチに切り、塩ゆです。にんじんは約3ミリ×1センチ×3センチの短冊切りにし、塩ゆです。たまねぎは約1センチのくし形に切る。
- フライパンにごま油を熱し、豚肉を炒め、料理酒をふり入れる。さらにたまねぎ、にんじんを入れて炒める。
- キャベツを入れて炒め、Aの調味料で味をととのえる。

Recipe

SYOKUIKU TIMES 6月



『朝食』は 1日のスタートです!



朝食を毎日しっかりと食べていますか？私たちの脳や体は、眠っている間にも動き続け、

朝起きた時にはエネルギーが不足しています。

朝食は、その日1日の活動に必要なエネルギー源です。

新しい環境への疲れも出てくる頃です。しっかりと睡眠をとり、朝食を食べて登校しましょう。

朝食で目覚ましスイッチをオン

頭(脳)の スイッチ



大量にエネルギーを消費する脳のエネルギー源となる「ブドウ糖」は、ごはん・パンなどの炭水化物が体内で分解されることでつくられます。朝食からブドウ糖を補給することで、脳の働きが活発になり、集中力・記憶力が高まります。また、よく噛むことで脳細胞を刺激し学習能力のアップにもつながります。

体の スイッチ



人の体は24時間よりも少し長い体内時計を持っています。毎朝、「朝日を浴びる」「朝食を食べる」ことで体内時計がリセットされ生活リズムが整います。また、朝食を食べると口から胃・腸へと続く消化管全体が動き始め、熱を発して体温を上昇させます。眠っていた体が目覚め、1日の活動の準備を整えます。



朝ごはんを食べる習慣がない人は、何か口にすることから始めましょう。

まずは、脳のエネルギー源となるブドウ糖の補給に炭水化物を多く含む「ごはん・パン」などを！



食欲がない人は、みそ汁やスープ、牛乳などがおすすめです。水分と一緒にビタミンやミネラルをとることができます。



食べる習慣ができたら、少しずつ品数を増やしてバランスを意識しましょう。

